

入札等監視委員会の議事概要の公表について

北九州市入札等監視委員会の平成26年度第3回定例会議を次のとおり開催したので、別添のとおりその議事概要を公表する。

記

開催日時 平成26年11月20日（木）14:00～16:00

会 場 北九州市庁舎5階 特別会議室A

平成26年度 第3回 北九州市入札等監視委員会 議事概要

1 会議名

平成26年度 第3回 北九州市入札等監視委員会

2 開催日時・会場

開催日時 平成26年11月20日（木）14:00～16:00

会場 北九州市庁舎5階 特別会議室A

3 出席委員

藤田 賢一郎、上地 和久、菊池 裕子、中尾 美佐

4 議事

(1) 平成26年度第2四半期の工事契約状況等の報告

次の事項について報告した。

- ・工事契約件数及び契約金額について
- ・建設工事等有資格業者に係る指名停止及び資格取消について

(問) 国が発注した工事で、1次下請人が事故を起こしたため、元請が指名停止になっている案件があるが、指名停止の措置日が事故発生から数ヶ月たっているのはなぜか。

(答) 本市発注工事でなくても、原則九州及び山口県で発生した事故等については、指名停止の対象にしている。その場合、労働基準監督署等の行政処分状況の状況を待って、本市での処分を決定するため時間がかかる。

(2) 平成26年度第2四半期の工事契約抽出案件の審議

ア 抽出方法について

審議する案件は、平成26年度第2四半期に契約をした工事の中から、中尾委員が10件（契約室契約分8件、東部整備事務所契約分2件）を抽出した。

イ 審議における質疑等

(問) 一般競争入札で総合評価方式の案件で、入札に参加した業者10者のうち「資格取消」が3者いるがどうしてなのか。

(答) 本案件への札参加申込みを行っている期間に、他の工事を落札した業者は、本案件に参加できないという条件があり、そのことを「資格取消」として表示しているものである。

(問) 総合評価落札方式の入札を行う場合、参加業者が多いと審査等が大変ではないのか。

(答) 総合評価落札方式の場合、価格以外の評価項目も審査することになるので、いつも慎重に審査をしているが、例えば、安全管理（労働災害防止対策）に関する評価等については、より慎重に対応している。したがって、入札参加業者が多い場合は、特に注意が必要となる。

(問) 総合評価落札方式の入札を行う基準（概ね予定価格1億円以上）は、規則等で定めているのか。

(答) 規則等では定めていない。入札案件を吟味し、最終的に技術監理室が実施するかどうか決定する。

(問) 予定価格を事前に公表しているのに、予定価格以上で応札をしている一般競争入札の案件がある。その場合、応札した業者にペナルティーはあるのか。

(答) ペナルティーはない。通常、予定価格以内で工事が実施できないのであれば、入札に参加しない。

(問) 鋼構造物工事の案件で、同じ入札日に2件の工事を落札しているが、通常、同日に複数の入札が実施された場合、落札した業者は、他の工事の入札に参加できないのではないのか。

(答) 鋼構造物工事の場合、もともと登録している業者が少なく、また、高度な技術力が必要な工事の入札の場合には、さらに入札に参加できる業者が少なくなるケースが多い。そのため、入札の競争性を高めるため、上記のような条件をつけなくて入札するケースが多い。

- ※ 1 次回の工事の抽出は、藤田委員が担当することとなった。
2 次回の委員会は、平成27年2月19日（木）に開催することとなった。